

問題 1

| 予定損益計算書 (単位：円) |  | 予定貸借対照表 (単位：円) |          |
|----------------|--|----------------|----------|
| 売上高 ( )        |  | 現金 ( )         | 借入金 ( )  |
| 標準変動売上原価 ( )   |  | 製品 ( )         | 未払利息 ( ) |
| 標準変動販売費 ( )    |  | 材料 ( )         |          |
| 標準貢献利益 ( )     |  |                |          |
| 固定費 ( )        |  |                |          |
| 予算営業利益 ( )     |  |                |          |
| 支払利息 ( )       |  |                |          |
| 予算経常利益 ( )     |  |                |          |

問題 2

営業利益差異分析表

|               |                      |       |
|---------------|----------------------|-------|
| (1) 売上高差異     | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 販売価格差異        | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 売上高数量差異       | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| (2) 変動売上原価差異  | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 変動売上原価価格差異    | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 変動売上原価数量差異    | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| (3) 変動販売費差異   | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 変動販売費価格差異     | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 変動販売費数量差異     | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| (4) 固定製造間接費差異 | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| (5) 固定販売費差異   | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| (6) 固定一般管理費差異 | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 営業利益差異        | <input type="text"/> | 円 ( ) |

(注) ( )内には、有利差異であれば「有利」、不利差異であれば「不利」と記入すること。

問題 3

営業利益差異分析表

|              |                      |       |
|--------------|----------------------|-------|
| (1) 販売価格差異   | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| (2) 変動費差異    | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 変動売上原価価格差異   | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 変動販売費価格差異    | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| (3) 貢献利益数量差異 | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 貢献利益差異       | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| (4) 固定費差異    | <input type="text"/> | 円 ( ) |
| 営業利益差異       | <input type="text"/> | 円 ( ) |

(注) ( ) 内には、有利差異であれば「F」、不利差異であれば「U」と記入すること。

問題 4

営業利益差異分析表

|        |                      |        |
|--------|----------------------|--------|
| 予算営業利益 | <input type="text"/> | 千円     |
| 販売価格差異 | <input type="text"/> | 千円 ( ) |
| 販売数量差異 | <input type="text"/> | 千円 ( ) |
| 変動費差異  | <input type="text"/> | 千円 ( ) |
| 固定費差異  | <input type="text"/> | 千円 ( ) |
| 実際営業利益 | <input type="text"/> | 千円     |

(注) ( ) 内には、有利差異であれば「F」、不利差異であれば「U」を記入しなさい。

問題 5

|     | 市場占拠率差異 | 市場総需要量差異 |
|-----|---------|----------|
| 問 1 | 円( )    | 円( )     |
| 問 2 | 円( )    | 円( )     |

(注) 有利差異であれば( )内に「有利」と、不利差異であれば( )内に「不利」と記入すること。

問題 6

問 1

|      | セールス・ミックス差異 | 数量差異 |
|------|-------------|------|
| 製品 R | 円           | 円    |
| 製品 W | 円           | 円    |

問 2

|      | セールス・ミックス差異 | 数量差異 |
|------|-------------|------|
| 製品 R | 円           | 円    |
| 製品 W | 円           | 円    |

問題 7

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| ① |  | ⑥ |  |
| ② |  | ⑦ |  |
| ③ |  | ⑧ |  |
| ④ |  | ⑨ |  |
| ⑤ |  | ⑩ |  |

問題 8

|             | 腕時計  | 置時計  |
|-------------|------|------|
| セールス・ミックス差異 | 円( ) | 円( ) |
| 市場占拠率差異     | 円( ) | 円( ) |
| 市場総需要量差異    | 円( ) | 円( ) |

問題 9

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| A | B | C | D |
|   |   |   |   |

問題 10

問 1

製品種類別損益計算書

(単位：千円)

|             | 製品 L              | 製品 M              | 製品 N              | 合計       |
|-------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|
| 売上高         | (      )          | (      )          | (      )          | (      ) |
| 変動売上原価      | (      )          | (      )          | (      )          | (      ) |
| 変動製造マージン    | (      )          | (      )          | (      )          | (      ) |
| 変動販売費・一般管理費 | (      )          | (      )          | (      )          | (      ) |
| 貢献利益        | (      )          | (      )          | (      )          | (      ) |
| 共通固定費       |                   |                   |                   | (      ) |
| 営業利益        |                   |                   |                   | (      ) |
| 貢献利益率       | 製品 L : (      ) % | 製品 M : (      ) % | 製品 N : (      ) % |          |

問 2

製品Mの製造・販売を取りやめた場合、全社的な営業利益が  千円

{ 増加 } するため、取りやめるべきで { ある }。  
 { 減少 } するため、取りやめるべきで { ない }。

(注) { } 内の不要な語句は二重線で消しなさい。

問題 11

問 1

|      | 投下資本利益率 | 残余利益 |
|------|---------|------|
| X事業部 | %       | 万円   |
| Y事業部 | %       | 万円   |

問 2

|      | 投下資本利益率 | 残余利益 | 経済的付加価値 |
|------|---------|------|---------|
| X事業部 | %       | 万円   | 万円      |
| Y事業部 | %       | 万円   | 万円      |

問題 12

問 1

|           | 事業部別損益計算書 |         |         | (単位：千円) |
|-----------|-----------|---------|---------|---------|
|           | 第 1 事業部   | 第 2 事業部 | 第 3 事業部 |         |
| 売上高       | ( )       | ( )     | ( )     |         |
| 変動費       | ( )       | ( )     | ( )     |         |
| 貢献利益      | ( )       | ( )     | ( )     |         |
| 管理可能個別固定費 | ( )       | ( )     | ( )     |         |
| 管理可能利益    | ( )       | ( )     | ( )     |         |
| 管理不能個別固定費 | ( )       | ( )     | ( )     |         |
| 事業部貢献利益   | ( )       | ( )     | ( )     |         |
| 共通固定費配賦額  | ( )       | ( )     | ( )     |         |
| 事業部純利益    | ( )       | ( )     | ( )     |         |

問 2     1 位：第  事業部                      2 位：第  事業部                      3 位：第  事業部

問 3     1 位：第  事業部                      2 位：第  事業部                      3 位：第  事業部

問題 13

問 1

追加投資を行った場合、東海事業部の投下資本利益率は{ 増加    減少 }するが、九州事業部の投下資本利益率は{ 増加    減少 }する。したがって、東海事業部では追加投資を { 行い   行わず }、九州事業部では { 行う   行わない } と考えられる。

問 2

追加投資を行った場合、東海事業部の経済的付加価値は  万円増加し、九州事業部の経済的付加価値は  万円増加する。したがって、どちらの事業部も追加投資を行うと考えられる。

(注) { } 内の不要な語句は二重線で消しなさい。また、 内には適切な数値を記入すること。

問題 14

問 1

|   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
|   |   |   |

問 2

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |
|   |   |   |   |

問題 15

|                   |   |
|-------------------|---|
| ① 埋没原価            | 円 |
| ② 製品Yを採用した場合の機会原価 | 円 |
| ③ 差額原価            | 円 |

問題 16

(1)  円

(2) 注文を引き受けた場合、(  円)の差額利益が得られるので、  
注文を[ 引き受ける 引き受けない ]べきである。

(注) (  )内には適切な金額を記入し、{  }内の不要な語句を二重線で消しなさい。

問題 17

問 1

注文を引き受けた方が  円の { 差額利益 / 差額損失 } が出るので、

注文を引き受けるべきで { ある / ない }。

問 2

注文を引き受けた方が  円の { 差額利益 / 差額損失 } が出るので、

注文を引き受けるべきで { ある / ない }。

(注) 不要な語句は二重線で消しなさい。

問題 18

追加加工をすると  円の { 差額利益 / 差額損失 } が出るので、

追加加工を施すべきで { ある / ない }。

(注) 不要な語句は二重線で消しなさい。

問題 19

(1) 連産品 X は追加加工を施すべきで { あり / なく }、  
連産品 Y は追加加工を施すべきで { ある / ない }。

(注) 不要な語句は二重線で消しなさい。

(2) 売上総利益  円

問題 20

{ 内製 / 購入 } する方が原価を  円節約できるので、

{ 内製 / 購入 } すべきである。

(注) 不要な語句は二重線で消しなさい。

問題 21

問 1  
部品甲の年間必要量が  本以上であれば、内製すべきである。

問 2  
NSリース㈱に支払う年間リース料が  円未満であれば、内製すべきである。

問題 22

経済的発注量  個

問題 23

問 1 製品甲  個 製品乙  個

問 2 製品甲  個 製品乙  個

問 3 営業利益  円

問題 24

製品Aを  個、製品Bを  個生産・販売したときに、  
営業利益が  円と最大になる。

問題 25

問 1 製品M  円 製品N  円

問 2  円

問 3  時間

問 4  個

問 5 製品M  個 製品N  個

貢献利益  円

問 6  円



問題 26

- 問 1    1 年後     円  
           2 年後     円  
           3 年後     円
- 問 2             円
- 問 3             円

問題 27

- 問 1     %
- 問 2     %

問題 28

- 問 1
- 投資案 A の正味現在価値 :     円
- 投資案 B の正味現在価値 :     円
- 問 2
- 投資案  の方が有利である。

問題 29

- 問 1
- 投資案 A の内部利益率 :     %
- 投資案 B の内部利益率 :     %
- 問 2
- 投資案  の方が有利である。

問題 30

- 問 1     年
- 問 2     年
- 問 3     %

問題 31

- 問1 投資案A：正味現在価値は  千円で、 番目に有利な投資案である。  
 投資案B：正味現在価値は  千円で、 番目に有利な投資案である。  
 投資案C：正味現在価値は  千円で、 番目に有利な投資案である。
- 問2 投資案A：収益性指数は  で、 番目に有利な投資案である。  
 投資案B：収益性指数は  で、 番目に有利な投資案である。  
 投資案C：収益性指数は  で、 番目に有利な投資案である。

問題 32

- 問1 投資案  の方が有利である。  
 問2 投資案  の方が有利である。  
 問3

|   |  |
|---|--|
| ① |  |
| ② |  |
| ③ |  |
| ④ |  |
| ⑤ |  |

問題 33

{ 設備投資案A } の方が  千円有利である。  
 { 設備投資案B }

(注){ }内の不要な語句は二重線で消すこと。

問題 34

- 問1 加重平均資本コスト率  %  
 問2 正味現在価値  万円  
 内部利益率  %  
 問3 正味現在価値  万円

(注)正味現在価値が0円未満になった場合は、金額の前に△を付すこと。

問題 35

問 1

正味現在価値が  万円であるため、投資 { すべきである / すべきでない }。

問 2

正味現在価値が  万円であるため、投資 { すべきである / すべきでない }。

(注) { }内の不要な語句は二重線で消すこと。また、正味現在価値が負の値になった場合は、金額の前に△を付すこと。

問題 36

問 1

正味現在価値が  万円であるため、投資 { すべきである / すべきでない }。

問 2

正味現在価値が  万円であるため、投資 { すべきである / すべきでない }。

(注) { }内の不要な語句は二重線で消すこと。また、正味現在価値が負の値になった場合は、金額の前に△を付すこと。

問題 37

問 1

(単位：万円)

| 現在                   | 1 年度                 | 2 年度                 | 3 年度                 |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

問 2

新規設備に取り替える案の差額正味現在価値が  万円であるため、新規設備に取り替えるべきで { ある / ない }。

問題 38

A 案の差額正味現在価値が  万円であるため、{ A 案 / B 案 }

を採用すべきである。

(注) { }内の不要な語句は二重線で消しなさい。

問題 39

投資案の差額正味現在価値が  万円であるため、{ 取り替えるべきである / 取り替えるべきでない }。

問題 40

問 1  千円

問 2  千円

問 3  千円

(注) キャッシュ・アウト・フローおよび正味現在価値の負の値については、金額の前に△を付すこと。

問題 41

問 1 毎年の製造・販売量が  個以上であれば、採算がとれる。

問 2 毎年の製造・販売量が  個以上であれば、B社製設備にすべきである。

問題 42

| A | B | C |
|---|---|---|
|   |   |   |

問題 43

投資案の正味現在価値は  万円なので、投資 { すべきである  
すべきでない }。

(注) 正味現在価値が負の値になった場合は、金額の前に△を付すこと。また、{ } 内の不要な語句は二重線で消去しなさい。

問題 44

投資案Aの正味現在価値 :  万円

投資案Bの正味現在価値 :  万円

したがって、{ 投資案A    投資案B } を採用する方が有利である。

(注) 正味現在価値が負の値になった場合は、金額の前に△を付すこと。また、{ } 内の不要な語句は二重線で消去しなさい。

問題 45

|               |    |
|---------------|----|
| 予算ライフサイクル収益   | 千円 |
| 予算ライフサイクル・コスト | 千円 |
| 予算ライフサイクル営業利益 | 千円 |

問題 46

問 1

X社製システムのトータル・コストは  円、Y社製システムのトータル・コストは  円であることから、 社製システムを導入した方が経済的である。

問 2

X社製システムのトータル・コストの現在価値は  円、Y社製システムのトータル・コストの現在価値は  円であることから、 社製システムを導入した方が経済的である。

(注)  内には適切な金額または「X」「Y」のいずれかを記入すること。

問題 47

問 1  円

問 2  円

問題 48

|   | 問 1 | 問 2 |
|---|-----|-----|
| A |     | 万円  |
| B |     | 万円  |
| C |     | 万円  |
| D |     | 万円  |

問題 49

問 1

|       |         |       |
|-------|---------|-------|
| 完成品原価 | 月末仕掛品原価 | 正常仕損費 |
| 円     | 円       | 円     |

問 2  円

問題 50

|   |   |
|---|---|
| A | B |
|   |   |

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|   |   |   |   |   |

問題 51

|     |      |   |   |
|-----|------|---|---|
| 問 1 | 製品 A | @ | 円 |
|     | 製品 B | @ | 円 |
|     | 製品 C | @ | 円 |
| 問 2 | 製品 A | @ | 円 |
|     | 製品 B | @ | 円 |
|     | 製品 C | @ | 円 |

問題 52

問 1  @  円

問 2   %

**[第 1 問] 解答用紙**

1. × 7 年 予定損益計算書(単位：千円)

|             | 7 月 | 8 月 |
|-------------|-----|-----|
| 売 上 高       | ( ) | ( ) |
| 変動売上原価      | ( ) | ( ) |
| 変動製造マージン    | ( ) | ( ) |
| 変動販売費       | ( ) | ( ) |
| 貢献利益        | ( ) | ( ) |
| 固定製造費       | ( ) | ( ) |
| 固定販売費・一般管理費 | ( ) | ( ) |
| 営業利益        | ( ) | ( ) |
| 支払利息        | ( ) | ( ) |
| 経常利益        | ( ) | ( ) |

2. × 7 年 予定貸借対照表(単位：千円)

|          | 7 月末 | 8 月末 |
|----------|------|------|
| 流動資産     |      |      |
| 現金       | ( )  | ( )  |
| 売掛金      | ( )  | ( )  |
| 製品       | ( )  | ( )  |
| 原料       | ( )  | ( )  |
| 計        | ( )  | ( )  |
| 固定資産     |      |      |
| 土地       | ( )  | ( )  |
| 建物・設備    | ( )  | ( )  |
| 計        | ( )  | ( )  |
| 資産合計     | ( )  | ( )  |
| 流動負債     |      |      |
| 買掛金      | ( )  | ( )  |
| 借入金      | ( )  | ( )  |
| 計        | ( )  | ( )  |
| 純資産      |      |      |
| 資本金      | ( )  | ( )  |
| 繰越利益剰余金  | ( )  | ( )  |
| 計        | ( )  | ( )  |
| 負債・純資産合計 | ( )  | ( )  |

## 【第2問】 解答用紙

|    |    |
|----|----|
| 問1 | 万円 |
| 問2 | 万円 |
| 問3 | 万円 |